

WIDE TREAD SPACER ADJUSTABLE SPACER PCD CHANGER

- 取付け作業を始める前に、必ず取扱説明書をご覧になり、内容をご確認の上作業を始めてください。
- 取付け作業前に、部品内容表によりパーツの内容をご確認下さい。
- この製品及び付属品は、改良の為予告無く変更する場合があります。

部品内容表

商品名とフレートの入数	フレートボルトの種類	フレートボルトの仕様と入数	ナットの種類と入数	付属品
ワイドトレッドスペーサーT10/2枚入り PCDチェンジャーT10/2枚入り	A/Bロングボルト	ハズミタイプ 4H-8本入り/5H-10本入り	M12フラワーナット 4H-8個入り/5H-10個入り	フラワーナット工具
ワイドトレッドスペーサーT15/T20/2枚入り ワイドトレッドスペーサーT25/T30/2枚入り	G/H-ボルト	ハズミタイプ 圧入タイプ	M12ショートナット 4H-8個入り/5H-10個入り	なし
ワイドトレッドスペーサーT40/T50/2枚入り	C/D-ボルト	圧入タイプ 4H-8本入り/5H-10本入り	M12ショートナット 4H-8個入り/5H-10個入り	なし
PCDチェンジャーT15/T20/2枚入り	G/H-ボルト	ハズミタイプ 4H-8本入り/5H-10本入り	M12ショートナット 4H-8個入り/5H-10個入り	なし
アジャスタブルスペーサー T15/T20/T25/T30/2枚入り	C/D-ボルト	圧入タイプ 4H-8本入り/5H-10本入り	M12ショートナット 4H-8個入り/5H-10個入り	T3/T5アジャストフレート 各2枚入り
アジャスタブルPCDチェンジャー T15/T20/2枚入り	C/D-ボルト	圧入タイプ 4H-8本入り/5H-10本入り	M12ショートナット 4H-8個入り/5H-10個入り	T3/T5アジャストフレート 各2枚入り

注意事項

警告

- 製品装着の際には、必ずトルクレンチを使用して確実に締め付けて下さい。【規定トルク=10~12kg-m】
- 運転前、運転後に必ず増し締め（締め付け確認）を行って下さい。
- 装着前に必ず取付け面をワイヤーブラシ等で砂、ゴミ、錆等を落とすから装着して下さい。
- 純正スタッドボルトの長さ及びスペーサーの厚みによって、純正スタッドボルトがスペーサーの表面より突出する場合があります。ほんの少しでも突出している場合、ホイール裏面に逃げが無いホイールは絶対に使用しないで下さい。
- 逃げるあるタイプのホイールでも純正スタッドボルトを十分に逃がす深さが無い場合はご使用になれません。ホイールによっては逃げる部分に刻印等が浮き出ている物もありますのでご注意ください。
- 走行中に異常な音又は振動及び異常な挙動を感じた場合は、速やかに安全な場所に停車し、車両及びスペーサーを点検して下さい。また、その場で異常を発見できなかった場合でも、速やかに車両の使用を中止し、専門店へ点検を依頼して下さい。※点検・検査費用は、お客様でご負担下さい。
- タイヤホイールに強い衝撃を受けた場合、スペーサーに無理な力が掛かり、そのまま使用すると破損等を起こし、事故につながる恐れがある為、その製品は絶対に使用しないで下さい。再使用する場合、必ず当社に検査をご依頼下さい。※検査依頼の発送費用は誠に勝手ながら、お客様でご負担下さい。また検査費用は有償の場合があります。詳細は当社までご相談下さい。
- スペーサーに圧入されているスタッドボルトを交換する場合は、ボルト穴の中にある削り粉を完全に除去し、洗浄後にプレス機を用いて圧入して下さい。また、ホイール装着時には、トルクレンチを用いて15kg-mまで締め込み、一度ゆるめた後に再び規定トルク（10~12kg-m）で締め付けて下さい。※スタッドボルトの交換は当社でも受付けております。
- スペーサーの厚みやホイールのオフセット等によって、車両に装着不可能な（フェンダーより突出する・タイヤハウスに接触する）場合がありますので、必ずご確認の上ご使用下さい。
- スチールホイールは取付け面が平面でない為、ご使用になれません。
- 本製品は、軸重が1500kgを超える車両にはご使用になれません。
- ボルトはめ込み式スペーサーのボルト取付け穴とボルトは、必ず精円形状を合わせて取付けて下さい
- ご使用になるホイールナットが袋ナットの場合、締め付けの際にスタッドボルトが袋部分に接触し、完全に締め付けられない場合がありますので必ずご確認下さい。また、その場合は、市販の貫通ナットをご使用下さい。
- 車両によって、ブレーキローター表面にビスが突出している場合があります。その場合はビスを取外しても問題ないかを確認の上、問題ない場合はビスを取外してご使用下さい。
- 本製品は、ディスクブレーキ車専用設計されております。
- ドラムブレーキの車両には使用しないで下さい。また、ディスクブレーキ車の場合でも、取付け面に凹凸がある場合はご使用になれません。
- テーパーナットを逆さに取付けしないで下さい。
- 当社以外のスペーサーと組み合わせてのご使用はおやめください。

注意

- 本製品は競技専用部品の為、一般公道での使用は絶対に行わないで下さい。また、クレーム、返品には応じかねます。
- 取付け、取扱い上の誤り、または不当な改造を施している車両へ取付けた場合の故障及び破損については、一切保証致しません。あらかじめご了承ください。
- ワイドトレッドスペーサーアジャスタブルスペーサー、PCDチェンジャー（除く10mm）の取付け時には、外径が28mm以下の平径21mmソケットレンチをご使用下さい。
- ホイールやスペーサーの取外しにインパクトレンチを使用しないで下さい。破損の原因となります。また、取付けは必ずトルクレンチを用いて、角線の順序で2~3回に分けて規定トルク（10~12kg-m）で締め付けて下さい。
- T10、PCDチェンジャーT10に付属のフラワーナット及び工具は、最大締め付けトルクが18kg-m以下に設定されています。規定トルク（10~12kg-m）以上のトルクで締め付けたり、誤った使用をすると破損しますのでご注意ください。
- 必ずトルクレンチを用いて規定トルク（10~12kg-m）で締め付けて下さい。※インパクトレンチやクロスレンチは絶対に使用しないで下さい。
- フラワーナット締め付け工具は、差込部が9.5mmのトルクレンチをご使用下さい。差込部が12.7mmのトルクレンチを使用する場合は、凸9.5mm凹12.7mmの変換アダプターが必要になります。
- 純正ボルトがスペーサー表面より16mm以上突出する場合は、突出量が16mm未満になるようにボルトを削って下さい。
- スライドドアの車両に取付けの際は、スライドドアが閉閉しなくなる場合がありますのでタイヤのはみ出しに注意して下さい。
- トヨタ純正アルミホイールの場合、純正ホイールナットがテーパー形状になっておりませんので、装着の際に確実にセンターを出さないとハンドルぶれの原因となります。また、テーパー形状の物でも確実にセンターを出さないとハンドルぶれの原因となります。※オプションのハブセンターカラーをご使用頂くことと確実な取付けが可能です。

取付け方法



1 取付ける前に

- 車両を確実にジャッキアップし、ホイールを取外します。
- 取付け面をワイヤーブラシやサンドペーパーを用いて清掃します。
- 取付け面の砂、ゴミ、錆等を落とさずに装着しますと、プレートのひずみやガタの原因となります。
- 取付け面が平らでないお車には、絶対取付けしないでください。
- ハブセンターのあるスペーサーは、ハブ周りの汚れを綺麗にしてからお取付け下さい。

2 ボルトの取付け

- プレートにプレートボルトを取付けます。
- アジャスタブルスペーサーT15/T20/T25/T30及びワイドトレッドスペーサーのT25/T30/T40/T50は、ボルト圧入済みです。
- ハズミタイプの場合、プレートにボルト穴とボルトは必ず楕円形状に合わせて取付けて下さい。

3 プレートの取付け

- 付属のナットを手で均等に締め付けます。
- スタッドボルト折損等を防止する為、必ず手で締め付けて下さい。
- 全てのプレートのテーパー部とナットのテーパーを合わせずに装着しますと、ナットの緩みによるホイールの外れ等の原因となりますので確実に作業を行って下さい。
- プレートの取付けには、外径が28mm以下のH21mmソケットレンチをご使用下さい。

4 プレートの固定

- プレートを回転させ、位置を変えながらレンチ等を用いてナットを仮締めします。
- プレートを固定（リアはパーキングブレーキで、フロントは他の人にブレーキを踏んでもらい固定）してトルクレンチを用いて規定トルクで締め付けます。【規定トルク10~12kg-m】
- プレートのひずみ等を防止する為、対角線の順序で2~3回に分けて締め付けて下さい。
- トルクレンチを用いずに締め付けると、トルク不足による緩みや、締め過ぎによるスタッドボルトの折損等の原因となります。

6 ホイールの固定

- ホイールを取付け、ホイールナットを手で均等に締め付けます。
- スタッドボルト折損等を防止する為、必ず手で締め付けて下さい。
- ホイールを回転させ、位置を変えながらレンチ等を用いてホイールナットを仮締めします。
- 車両を降ろして、トルクレンチを用いて規定トルクで締め付けます。【規定トルク=10~12kg-m】
- トルクレンチを用いずに締め付けると、トルク不足による緩みや、締め過ぎによるスタッドボルトの折損等の原因となります。
- 装着後、車両を前後させ、再度規定トルクで締め付けます。